

# 虹ヶ丘新聞

第67号

ホームのようなまち  
まちのようなホーム

発行／社会福祉法人 与謝郡福祉会  
高齢者総合福祉施設 虹ヶ丘  
編集責任者／石本 晃一  
住 所：京都府与謝郡与謝野町字岩屋600番地3  
TEL：0772-43-2011  
E-Mail：nijigaoka@yofuku.or.jp  
URL：http://yofuku.or.jp/nijigaoka/

## 令和元年度敬老祝賀式

9月21日、多くのご来賓の方、ご家族に出席いただき、令和最初の虹ヶ丘敬老祝賀式が開催されました。今年はい百歳以上の方が2名、米寿の方が5名お祝を受けられました。最後にお祝を受けられた皆様より一言ずついただきました。心に染みるお言葉や、また言葉にはされずともとても良い表情を見せて下さる方、様々な形でお気持ちを表して下さいました。今後益々のご長寿をお祈りしております。



また10月16日(水)には、与謝野町敬老会がわーくぱるで行われ、当施設から14名のご利用者に参加され、気持ちの良い秋晴れの中、送迎車4台に分乗し会場入りしました。

到着すると式典は既に始まっており満席で急遽テーブルを出して席を作っていたかどうかの大盛況。児童発表が始まると手拍子や声援で会場が盛り上がりです。ご入居者の皆様も「うれしい」と感激の涙を流されている方や、手拍子に合わせてリズムミカルに体を揺らす方もおられました。

児童発表の後はお弁当が手際よく配られ昼食です。とても美味しそうなお弁当は天ぷらにバラ寿司。あちらこちらで話が弾み、とても良い雰囲気の中で豪華な食事に、ご入居者も満足されたようでした。昼食後のステージでは演芸が始まりましたが、ポップな琴の音が鳴る中、帰路に就きました。祝賀会に参加された皆様が、これから

お元気で楽しい毎日が過ごせますように。(特養)

## 神宮寺 秋の遠足

10月12日(金)神宮寺は遠足で出石に出かけました。天気がよく汗ばむような陽気の中、「ドライブイン いずし」にて皆様と一緒にいただいた定食の皿そばは、冷たくて、のどごしも良くとても美味しかったです。そばの味が苦手だと仰るご利用者も、うどんを召し上がった後に「ちょっと食べてみたい」と手を伸ばされましたが、「このおそばなら食べられる。美味しい。」と大絶賛。定食にはご飯や天ぷらもついていましたが、皆さんしっかり召し上がっておられました。昼食後はあれこれと試食して吟味しながらお土産を買われ、出石の町なかを散策しました。『但馬の小京都・出石』は町並みも風情があり、観光客も多く、小一時間の道のりで来たのに、遠足というよりも小旅行気分が味わえ、皆様に楽しんでいただけたと思います。ご利用者の皆様は、遠出することが中々できなくなってくるので、普段のドライブ



以外にも、ちょっと遠くにお出かけする機会をこれからも作っていきたくと思っています。(神宮寺)

## RUN伴 2019 in 丹後!!

10月20日(日)は丹後の2市2町で、RUN伴が開催されました。RUN伴は認知症の啓発イベントとして日本最大のイベント。丹後エリアは昨年からRUN伴を開催しており、今年も虹ヶ丘からは13名の職員が参加いたしました。昨年虹ヶ丘は丹後の代表を引き受けたこともあり、運営のほうに気を使うことが多かったのですが、今年はエントリーしたスタッフみんな楽しんで走る(歩く?)ことができました。

丹後全体で200名を超える参加者を得て、昨年以上に盛り上がったRUN伴イベント。お揃いのオレンジTシャツを着て、虹ヶ丘も、『認知症があっても安心して暮らせるまちづくり』をこれからも応援いたします。(相談員)





20回目の虹ヶ丘まつり！

10月5日

(土)に虹ヶ丘まつりを開催いたしました。

記念すべき20回目のお祭りは、久しぶりの好天に恵まれて盛大に行うことができました。今年には虹ヶ丘開設20年のため記念のTシャツを作成し、当日は多くのスタッフが揃いのTシャツに袖を通し運営に当たりました。



普段は広々とした建物が、熱気ムンムンになるくらい多くの方にお越しいただき、虹ヶ丘を介して子どもさんから108才のご利用者までが一緒に楽しく賑わうことができました。

途中、衆院議員の本田さんと府議会議員の中島さんが、サプライズゲストとしてご登壇いただきシーンもありました。来年もさらに楽しい企画を考えて、地域に根ざした施設づくりを進めていきたいと思っております。

ステージを盛り上げて下さった市場小学校1・2年生の皆様、三線サークルあしびな様、ワンスモア様、岩屋踊り継承会様、模擬店をお手伝いいただいた夢織りの郷様、岩屋熱気球様、サポーター輪や様、つじい会様、天理教様、そ

の他個人ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

そして、何ヶ月にもわたり、準備を重ねてこられた実行委員の皆様さん、本当にお疲れさまでした。(相談員)



『ケアハウス歌謡ショー』

10月29日(火)久しぶりに河原様・森垣様のお二方をお願いし、ケアハウスでお二人の歌謡ショーを開催いたしました。全13曲、約1時間の歌謡ショーで、喉が枯れそうになるところまで一生懸命に歌ってください、聞いている皆様も、歌い手の一生懸命さが伝わるように拍手や拍手を送られ、あつという間の1時間が過ぎました、

ボラン

ティアに來てくださる方は、ご入居者の皆様のことを思い浮かべながら、



こんな歌を歌ったら喜んでもらえるだろうか？とか、またカラオケに無い歌はご自分でCDを用意されるなど、色々なご苦労があるとお聞きしました。また、当然練習もしなければならぬ、ボランティアの皆様の大変さを感じながら毎回お願いしています。

今回のステージでは、森垣様が十八番の「岸壁の母」に合わせた衣装を揃え、また岸壁に迎えにくる腰の折れた母を演じて杖まで用意され、本当に楽しませていただきました。今後どうぞよろしくお願いたします。(ケアハウス)

『デイブック』の完成！

以前にご紹介したことがあるかもしれませんが、北部地域の6つの社会福祉法人が集まり『ユニットin 北京都』という活動を行っています。様々な部門に分かれて会議をしています。その中

にはデイサービス部門もあり、各事業所の近況や情報交換だけでなく、連携のもとで福祉の啓発や、地域福祉の向上と増進に寄与することを目的として活動しています。

そのユニットinデイサービス部門の中で、『レクリエーションを楽しむデイブック』を作成いたしました。気になる内容ですが、地域のサロン向けに楽しめる遊びや、サロンに来られた方が、元気に、楽しみながらりハビリを行なえるような内容を盛り込みました。

今回の「デイブック」は、岩屋区の岩屋カフェ様、茶ポトイ輪や様、与謝野町社会福祉協議会様に数冊ずつお配りいたしました。ご興味のある方は是非各サロンに足を運んでみられたり、虹ヶ丘デイサービスセンターにお問い合わせいただければ嬉しく思います



お問い合わせ先

「虹ヶ丘デイサービスセンター」

TEL43-2013

担当 藤村